

都市再生整備計画（栄町安食駅周辺地区） 事後評価シートの概要について

令和6年9月

■ 事後評価シートの公表について

町では「安食駅周辺地区」において、令和元年度～令和5年度にかけて、都市の再生を効率的に進めるため、都市再生整備計画を策定し、事業を行ってきました。

この度、当該事業が完了し、交付金を活用したまちづくりの事後評価を行い、まちづくりの成果や今後のまちづくり方針などを事後評価シートにとりまとめましたので、公表します。

■ 都市再生整備計画とは

都市再生特別措置法に基づき、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的に町が策定し、その内容は、地域が抱える課題やまちづくりのビジョンに基づき、まちづくりの目標や数値指標を達成するために必要な事業を記載した計画です。また、この計画に基づく事業の経費の一部に、国から交付される交付金を活用することができます。

■ 栄町安食駅周辺地区のまちづくりの概要

【まちづくりの目標】

令和元年度～令和5年度にかけて、以下の目標を掲げ、都市再生整備計画事業を実施しました。

安食駅周辺における都市機能の充実による住みやすいまちづくり

- ①安食駅を中心とした都市機能の充実
- ②衛星都市*住民の利便性向上による駅周辺の活性化
- ③安食駅を中心とした賑わいの創出による駅周辺の活性化

*衛星都市とは、大都市の機能の一部を分担する中小都市のこと。本計画では、竜角寺台地区と酒直台地区を示します。

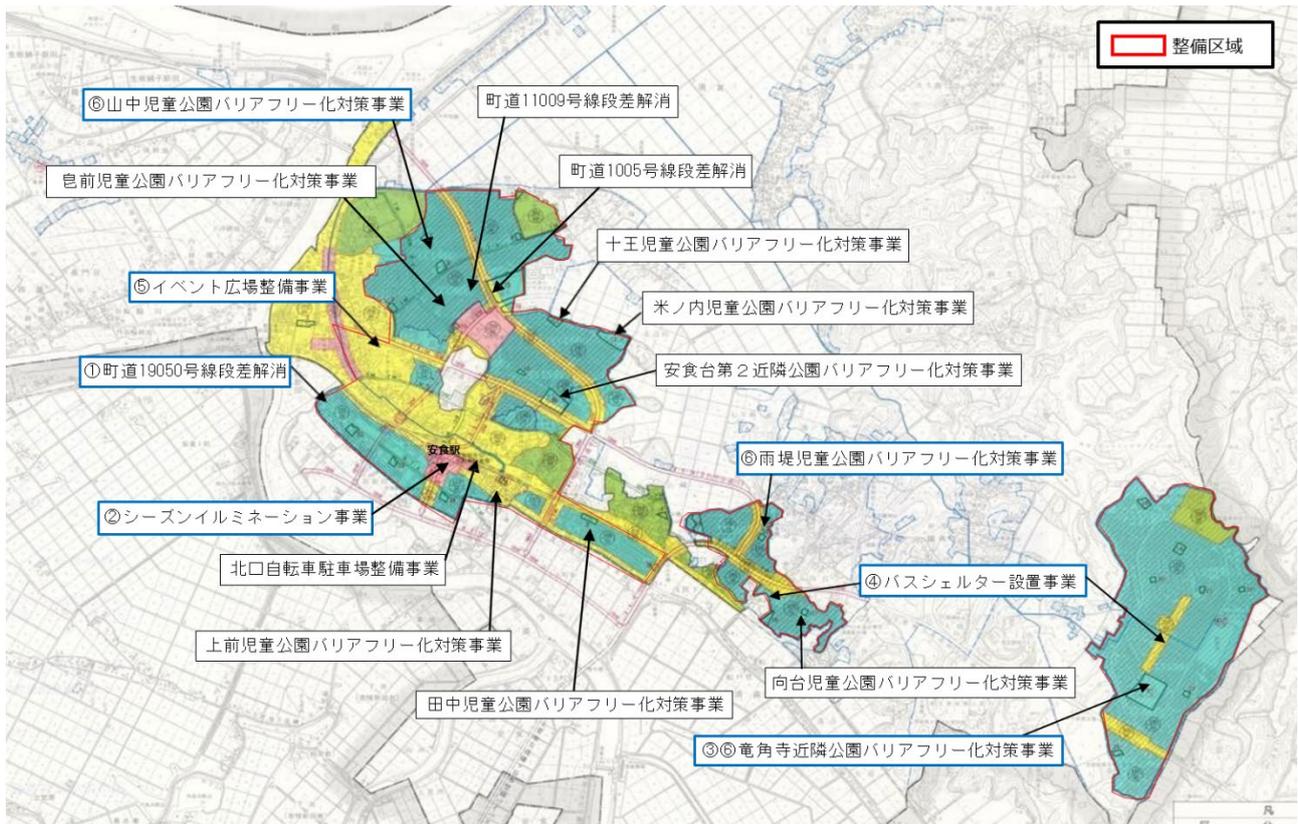
【実施概要】

対象区域：約 246ha

事業期間：令和元年度～令和5年度

事業内容：公園バリアフリー化対策、道路・自転車駐輪場整備、バスシェルター設置事業 等

【対象区域図】（青枠の事業は、次ページ以降に写真を掲載しています）



【主な実施内容】

安食駅を中心とした都市機能の充実の一環として、経年劣化した道路等、快適な移動環境に改善するため、道路の再整備を行いました。

また、駅を中心ににぎわいを創出するため、シーズンイルミネーションを実施しました。

①道路・歩道の段差解消



②シーズンイルミネーションの実施



衛星都市住民の利便性向上による駅周辺の活性化の一環として、高齢者やベビーカーを利用する子育て世代が利用しやすい環境となるよう、公園入口等のバリアフリー化やバスシェルターの設置等を行いました。

③公園のバリアフリー化



④バス主要停留所へバスシェルター設置



安食駅を中心とした賑わいの創出による駅周辺の活性化の一環として、大勢の来訪者が参加できるよう、イベント会場の充実化を図ることで、まちのにぎわいと活気を生み出す環境づくりを促進しました。また、安食駅周辺の公園をバリアフリー化（公園入口整備/園路や階段に手すり設置/ベンチ改修等）することで、安全性や利便性の向上を図る等、公園環境を改善しました。

⑤ イベント広場整備



イベント広場の整備



イベント広場活用の様子

⑥ 公園のバリアフリー化



山中児童公園



入口段差解消整備等



雨堤児童公園



ベンチ改修等



竜角寺近隣公園



階段手すり設置等

事後評価の概要

令和5年度が事業の最終年度にあたり、事業成果の評価、検証を行いました。

【指標の達成状況】

①数値指標の結果

計画の中で設定した数値指標の達成状況は、以下の通りです。

指標名	計画作成時の数値	目標値	評価値	達成度	1年以内の達成見込み
指標1 住み続けたいと思う 町民の割合	58.0%	63.0%	73.4%	○	—
指標2 公園整備の満足度	50.7%	60.0%	41.2%	×	なし
指標3 駅前地区における人口	1,594人	1,700人	1,601人	△	なし
その他の数値指標1 事業前と比較した公園 の利便性	—	—	75.7%	—	—
その他の数値指標2 事業前と比較した道路 の安全性	—	—	78.7%	—	—
その他の数値指標3 駅前地区隣接エリアに おける人口	0人	—	197人	—	—

指標の出典

- 指標1 : 町民意識調査(平成29年10月)
栄町安食駅周辺地区に係るアンケート調査(令和6年4月)
- 指標2 : 町民意識調査(平成29年10月)
栄町安食駅周辺地区に係るアンケート調査(令和6年4月)
- 指標3 : 安食1～3丁目人口(平成30年4月1日時点、令和6年4月1日時点)
- その他指標1 : 栄町安食駅周辺地区に係るアンケート調査(令和6年4月)
- その他指標2 : 栄町安食駅周辺地区に係るアンケート調査(令和6年4月)
- その他指標3 : 駅前地区隣接エリア人口(令和5年度)

<指標 1：住み続けたいと思う町民の割合>

道路や公園のバリアフリー化、イベント広場の拡充、バスシェルターの設置により、利便性や安全性、快適性が向上する等、住みやすいまちづくりに寄与し、町民の定住意向が向上しました。

<指標 2：公園整備の満足度>

公園整備の満足度は向上せず、目標達成に至りませんでした。公園のバリアフリー化により安全性や利便性は向上し、住みやすいまちづくりに寄与しています。

<指標 3：駅前地区における人口>

目標達成には至りませんでした。駅前地区の人口が増加するとともに、道路、公園等の再整備により良好な居住環境が創出され、安食駅を中心とした都市機能の充実や活性化に寄与しています。

<その他の数値指標 1：事業前と比較した公園の利便性>

町民の7割以上が公園の整備により利便性が向上したと回答しており、公園のバリアフリー化等により、利便性や安全性が向上し、住みやすいまちづくりに寄与しています。

<その他の数値指標 2：事業前と比較した道路の安全性>

町民の7割以上が道路整備により安全性が向上したと回答しており、道路の段差解消等により道路の安全性や利便性が向上し、住みやすいまちづくりに寄与しています。

<その他の数値指標 3：駅前地区隣接エリアにおける人口>

道路、公園の再整備やイベント広場の拡充等により良好な居住環境が創出され、駅前地区に隣接するエリアの人口増加に寄与しています。

②定性的な評価

数値的な評価の他、数値では表せない事業効果をまとめました。

- ・ 公園入口や歩道の段差があることが課題でしたが、バリアフリー化することにより、ベビーカーを利用する子育て世代やランドゴルフの利用者等を中心に利用しやすくなったとの意見が出ています。
- ・ 安食駅前南口広場におけるイルミネーションは町の写真スポットになる等、町民や来訪者から好評で、駅前の賑わい創出に寄与しています。
- ・ バスシェルターの設置により、子供たちが雨に濡れずにバスを待つことができる等、町民から利便性が向上したとの意見が出ています。
- ・ イベント広場の拡充により、出店者等から利用しやすくなった、活動する場所が増えたという意見が出ており、地域活動の活性化に寄与しています。また、周辺道路と一体的にイベントを開催することで、イベント広場だけでなく、周辺の賑わいの創出につながっています。

【まちの課題の変化】

今回の事業によって、まちの課題がどのように変わってきたのかをまとめました。

- ・ 老朽化した道路の再整備や段差解消により、利便性が向上し、快適な移動環境の創出に寄与しています。
- ・ 既存公園をバリアフリー及びユニバーサルデザイン化することで、多世代が利用しやすい公園へと環境改善が図られています。
- ・ イベント広場の拡充により、コミュニティ活動や西の市等のイベントの利便性向上や参加者増加につながり、安食駅周辺のにぎわい創出に寄与しています。

【今後のまちづくりについて】

今回の事業を踏まえ、今後のまちづくりについてまとめました。

- ・ 整備した道路・公園等について、町民や来訪者等が安心して快適に利用できるように、適切な維持管理を行います。
- ・ 老朽化した未整備の道路・公園について、再整備やバリアフリー化等を実施します。
- ・ 公園、イベント広場、駅前広場について、町民や来訪者による利用を促進します。また、イベント広場は、イベント時だけでなく、日常的な利用も促進します。
- ・ 全国的な自然災害の増加や激甚化に備え、公園等の防災機能を拡充するとともに、町民の防災意識の向上を図ります。